



公益財団法人  
草津市コミュニティ事業団  
ロクハ荘



人生ちよつと・いい話！  
「スリーサイズ聞かれたらどうしよう」ってのっけから笑いを誘ってくれBさんとの話が始まりました。●今回インタビューする方は女性Bさんです。お歳を聞くと「昭和十八年生まれ、後期高齢者です。」「えっ！元気ですね」スムーズなスタートに自身の気持ちと和む●生まれも育ちも草津、お父様が戦争で亡くなったのが生後六か月の事。その後お姉様も亡くし、その後はお母様がお一人で兄妹お二人を育てられたそうです。「姉が欲しかった」その際、少し寂しそうなお顔になりました。●「ご結婚は？」の質問には「二十一歳で結婚、その後男の子が二人生まれました。」「青春時代が短かったなあ(笑)」お見合いだったらしいですが相手(ご主人様)からとても強く結婚を望まれ、お母さんの薦めも結婚に踏み切った一つかもしれない。晩年はとても良いご主人だったそうです。●そのご主人も十年前に他界、現在は一人暮らし、台風の時等は心細くなるようですが、至って元気！社交ダンス(十八年)・卓球(四十年)・健康マージャン(一年半)毎日充実、「今が一番幸せ」といい笑顔で話が続きます。

●本当の幸せってこんな事(何気ない毎日でも元気で笑顔で過ごせるようなこと)なんだってあらためて思います。●話は少し遡って、高校を卒業し社会人としてスタートも三年後結婚し、それを機に退職、一旦は子育て中心の生活になるも、一段落するとこの後、座右の銘の一節で語る言葉が表すように、持ち前のパワーは医療事務の資格を通じて教育で取得することに、その後多年に渡って病院で事務職をこなし、六十七歳で引退●五年間は何もしないで過ごすも、病院勤務時代に出会った人たちが街中で会った際、時々顔と名前が一致しない事があった為「何もしないでこのままじゃボケてしまうかもしれない。嫌だなあ！」と、それまでの卓球や社交ダンスに加えて、健康マージャンをすることになります。●「いっぱい趣味」を持ってますが、「卓球は中学高校と、その後ママになってからも卓球をやってきました。合計四十年になりますね！」「だから一番好きな趣味かな？」「でも社交ダンスも長くやっていますよね」「誘われて始めたけど本当はいやだったの！話すとき長くなるけどボケ防止！と正しい姿勢、スポーツ系が大好きだからね。」と言いつつもボケ防止？に紐づけて考えてしまう方なんです。

●「これ迄の人生で一番嬉しかったことは？」とお聞きすると「子供に恵まれた事かな？男の子二人やんちゃで大変な事もあったけど元気に育ってくれ今も私を大事にしてくれまます。」「私もそうですが、子供の存在って本当に大事ですね。●「逆に一番つまらなかった事ってなんですか？」「には、「母親が亡くなった時が一番です。女手一つで育ててくれ」「感謝」しか無いですね。」「ご主人が亡くなったのは？」「そいうだそれもあった」と語るお茶目なBさん。●最後に座右の銘をお聞きすると「これも絶対聞かれると思った」と「温故知新」と即答、字が示すように古きを訪ね新しいことにチャレンジ。この言葉を発したBさんの話を振り返ると、若い時に培った情熱や思いは、その後ボケ防止と言いつつも「常に新しいことにチャレンジしたい」との思いが見えました。●「スリーサイズを聞かれたら・・・」と始まった今回のインタビュー、ロクハ荘で見るBさんは何時も良い顔をしています。一人になられた今も笑顔がとても素敵なお方でした。●いつも何かにチャレンジし続ける姿勢。それは何であつても良いんです。明日から？いいえ今から何か始めてみませんか？(インタビュー取材原本)

編集後記

人それぞれに好きな「言葉」がある。座右の銘なんておかげさじゃなくても、何かその「言葉」が心に残って励まされ、癒される「言葉」がある。「言葉」って不思議で大きなものだと思う。●私の好きな「言葉」は「明日は明日の風が吹く」です。●辛い事、悲しい事や嫌な事、それを何時まで引きずっても好転することはない筈です。むしろ、「明日は絶対良い事が有る筈」と心に言い聞かせ、思いを新たにすると何故か少し心が軽くなります。●辛いこと、悲しい事や嫌な事が全く心からなくなることはありません。そんな時、家族や友人が癒してくれます。しかし、そこには必ず「言葉」が有ります。「言葉」は「薬」や「糧」になる筈です。「糧」はいずれ自身を強くし、大きくします。●皆さんの好きな、大事な「言葉」は何ですか？

